

現地へ足を運び声を聞き 現場と農政を結ぶ

東海農政局長

田辺 義貴氏



一新 転機

昭和三十四年四月、広島県出身。五十八年三月、一橋大学法学部卒業。同四月、農林水産省入省。平成九年十月、近畿農政局企画調整室長。十五年一月、総合食料局商品取引管理官。二十四年四月、近畿農政局次長。二十五年十月、農業者年金基金監事。二十七年十月、東海農政局長就任。

【名古屋の印象】名古屋は、東京と比べて、「明るい」という印象を持ちました。道は広く、建物も整然としているので、戦後間もなくに考えられた都市計画が成功している素晴らしい街だと思えます。また、道行く人の表情も明るく、来る前には名古屋はモノロー主義だと聞いていましたが、むしろフレンドリーな印象です。

【ウルトラマラソン】一〇年ほど前に、近所の公園にあったランニングコースをきっかけに、マラソンを続けています。ハーフマラソン、フルマラソン、ウルトラマラソンと、だんだんと走る距離が伸びていき、今では山の中を走る長距離マラソンへと、さらなる刺激を求めて挑戦を続けています。最長一〇〇kmが現在のスコアなので、今後二五〇km走り切ることが目標です。私にとって走ることは修行の一環であり、マラソン自体が楽しいわけではありません。ただ、走ることでしか味わえない達成感や、終わったあとの一杯を得るために続けている部分はあると思います。

【自分の足で三県制覇】伊勢志摩や熊野古道といった有名な観光地にはすでに行ったことがありません。名古屋市内の観光地としては、徳川家ゆかりの地や、豊田佐吉の邸宅などの歴史的な遺産が多いことに驚きました。また任期中、今年六月に参加した飛騨高山ウルトラマラソンのような大会も通して、管内を自分の足で回りたいと考えています。最終的には、名古屋市内だけでなく、東海三県の名所を全制覇することが目標です。

【一利を興すは、一害を除くに如かず】業務上毎日、仕事に追われてしまいがちです。この言葉は、できるだけ物事を省き、気持ちと体に余裕を持ち、しっかりと対処したいという意味です。他にもあるので、一つ選ぶとするならこの言葉でしょうか。
【抱負】農水省の出先の機関として、現場と農政を結ぶことに努めたいと思っています。地域の方々には農政からの情報を発信し、彼らの声をしっかりと聴くためにも、できるだけ現場に足を運んでいきたいと考えています。